

桜蔭俳話会

第一三〇回通信句会 選句結果

平成三十年夏。選句数は五句、うち特選一句。

(○内の数字は、特選数で、選句の内数です)

- 2点 声交す妻の亡くして涙夏 眞三
- 5点①老鶯や地蔵菩薩の耳豊か 幸
- 9点④蛩飛ぶこころの闇の処方箋 守
- 6点①補欠子へ草笛の空あけてをく 才美
- 1点 諏訪涼し鳥影写す八ヶ岳 則子
- 9点③井戸水に地球漬けたき暑さかな 明美
- 1点①離婚する選択もあり火取虫 眞壽
- 2点 阿弥陀仏の九体の影新樹光 友子
- 3点 一瞬の母の眼光黄蝶追ふ 安紀子
- 5点②解体の重機の爪や夏の雷 ツル子
- 3点①母の日の母は花柄ワンピース 幸子
- 2点 むせ返る酷暑をはじく雨の音 邦子
- 1点 若鹿の角つややかや夏の空 のり子
- 宇宙や火星接近ちちる虫 直子
- 鴨の子を狙う虎猫の一瞬 ヤエ子
- 泥中のCD鳴るや夏豪雨 かほる
- 1点 連理の枝梅雨を留むる大樹かな 幸枝
- 1点①登り行く蟻の一連紅の底 ツル子
- 2点 夏燕ビルのはさまの鎮守杜 友子
- 1点 唾蟬や卒塔婆聞ひたり風の音 かほる
- 4点②風鈴の音が弔ふ被災の地 明美
- 1点 猫の目やゴーヤチャンプル夏の夕 直子
- 4点①夏木立一氣に空の入れ替る 才美
- 1点 足元で光る縦縞トカゲ消ゆ 邦子
- 6点①涼しさや風が風追う大草原 幸
- 3点 薫風や背筋きりりと矢を放つ 安紀子
- 箸置いてもぼうつとふらつく大暑かな 幸枝
- 暑気払ひ新たな出会い胸は弾む 眞壽
- 2点①片陰の一つだに無き坂の道 ヤエ子
- 1点 陽は昇り水面涼しき諏訪湖かな 則子
- まだ柔き山女の骨や山の宿 のり子
- 1点 凌霄花や風に言葉を残しけり 守
- 2点 図書館に稚の泣き声若葉風 幸子
- 1点 妻の亡くショック一段夏の朝 眞三

- 3点 枝豆に一振りモンゴル文字の塩 幸
- 1点 読書する窓辺の少女花ざくろ 幸子
- 4点 涼しさいつもの位置に母の筆 才美
- 6点②風死して百戸の出せる排気熱 のり子
- 夕立にざわめき消えしキャンプの灯 明美
- 1点 抱つこ紐の嬰兒眠る溽暑かな ヤエ子
- 7点①風死すや言葉少なき避難民 友子
- 妻のこと友に話しす晴れて夏 幸枝
- 2点 眞昼時熱気に喘ぐ夏の蝶 眞三
- 3点 先急ぐ蟻の列アスファルト 邦子
- 3点 日が経てば七月豪雨忘れ去る 守
- 3点 夏猛る水滴も無き八ヶ岳 直子
- 喧噪の入る涼風や深呼吸 かほる
- 1点 ソーダ水入れて飲む酒妻の酒 眞壽
- 3点 先客のありしバス停片かけり ツル子
- 1点 読経ごと墓所にふりしく蟬時雨 安紀子

「事務局からの知らせ」

○九月句会

九月二十三日(日)、午後一時から、旭区民文化センター(サンハート)で行います。兼題は「爽か」。

また、当日、旭区俳句展出展の短冊と短冊掛けをお持ち下さい。

○十月句会

十月二十七日(土)、吟行します。句会場は、横浜市歴史博物館会議室。詳細は、追ってお知らせします。